

取り組んだ日付を記入しよう。取り組めなかったものには×をつけよう。

基本メニュー (☆☆☆) 全員が必ずやるべきもの	日付
① 漢字練習プリント 60～64 を少しずつ進めていくこと。次回の国語授業で 61 の漢字テストを行います。	
② 語彙プリント 重要語句 555 [次の国語授業でも 408～444 (「甚だ」～「腑に落ちる」) のテストを実施します] →言葉を聞いて意味がだいたい想像できる、その言葉が入った文章が示された時に使われ方がふさわしいかふさわしくないかが分かる、というところまでは学習しておくことをおすすめします。	
③ 第 34 回 宿題その一 [解答の手がかりや問題の条件等に線を引いて解きましょう]	
④ 第 34 回 宿題その二 [() の前後を読み、手がかりに線を引いて解きましょう]	
⑤ 「家庭学習用教材 (10 月)」に取り組む (大問一つずつ、それぞれ 30 分前後を目安に取り組むこと。こちらについても、解答の根拠や問題の条件等に線を引いて解くとよいでしょう。また、間違えた問題を中心に解説を読んでおくこと。巻末の解答をていねいに切り取って保護者の手元に置いておき、解説を読ませる時だけ貸し出す形をおすすめします)。	

応用メニュー (☆☆) 余裕があればやるもの	日付
① 第 34 回 授業で解いた <u>演習</u> の [記号選択] 設問の復習 →授業中のメモを見てどうしてその答えになるのか確認しましょう。特に、正しくない選択肢は「どの部分が正しくないのか」まで確認できるとよいでしょう。	
② 第 34 回 授業で解いた <u>演習</u> の [記述] 設問の復習 →×または空欄だった問題はメモを見ながらでよいのもう一度自分の力で書いてみましょう。次の国語授業時に提出があれば添削して返却します。	
③ 第 34 回 授業で解いた <u>演習</u> の [ぬき出し] 設問の復習 →文章中のどの部分が解答であったのか再度確認しましょう。	

担当からの連絡

今回扱った物語文では、「僕⇔あーちゃん」の立場の違い、「最初の僕の心情→今の僕の心情」の変化が描かれています。それぞれの対比や変化の様子を押さえてほしいところです。

また、演習①・演習②のいずれにおいても変化をおさえる設問を配しました。変化前として描かれていた心情は主人公の「僕」が「あーちゃん」に向けた「かわいそう(同情)」という心情でした。これが「上位のものが下位の者を見る心情であること」であることも押さえつつ、そのような「僕」の心情が変化したきっかけとして「怪我によって眼帯をつけたこと」が本文中に書かれていました。つまり、「同じような立場になったことで気持ちがわかる(→共感できるようになる／相手を下に見ない)」という心情や考えの変化を読み取ってほしい設問でした。